

名取市下増田地区民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 9 月 4 日掲載記事)

私たちが住んでいる地区は、沿岸部にあり、岩沼市と隣接しています。海に近い地域には、仙台空港、宮城県立農業高等学校、障がい者支援施設、そして名取市名産の北釜メロンの栽培地などがあります。自然豊かで、とても住みやすい地域でした。しかし、2年5か月前のあの恐ろしい震災、津波により、空港を除き、ほとんどが呑み込まれてしまいました。そして、70数名の方が犠牲になり、今でも心が痛みます。

私たち民生委員・児童委員もほとんどが家屋の全壊、半壊、床上浸水等の被害に遭い、全員の無事を確認するまでには相当の時間がかかり、大変心配しました。当時は民児協としての活動は進まず、それぞれができる範囲で無我夢中で活動を行ないました。今も昨日のことに感じられます。

あの震災から2年以上が経過しました。防災集団移転の場所は決定したものの、まだまだ先が見えない状況です。

住民個別の移転も多くなってきています。そのようななかで、本年6月に震災後初めてとなる市の総合防災訓練が、当時避難場所になった下増田小学校を会場に実施されました。約1,400名の地域の皆さんに参加いただき、避難経路の確認や炊き出しの訓練が行なわれました。東日本大震災を教訓に、訓練の大事さをあらためて学びました。



現在、仮設住宅等に入居されている方々もおられますが、民生委員・児童委員として従来の活動を原点に、前向きに、そして一歩ずつ、皆さんの心に寄り添った活動を進めていきたいと考えています。

